

優楽のチカラ



令和4年7月1日（金）じゃがいも掘り

優楽の中庭で芋（じゃがいも）掘りを行いました。
デイケアの運転手さんが中心となり中庭で野菜を育てています。
利用者さまも一生懸命、土の中にあるじゃがいもを掘っていました。

収穫したじゃがいもは、後日おやつの際に食べていただきました。



就任のご挨拶

施設長

本田 潔



私は令和4年6月1日から介護老人保健施設やすらぎの杜優楽の施設長に就任いたしました、本田潔です。

大阪市内で内科医として主に急性期医療に30年以上従事し、老健施設でも2年ほど勤務しておりました。

利用者さまがお元気に優楽でのサービスを利用されるよう健康管理を行ないます。

また、健康状態の悪化時には近隣の病院に紹介させていただき、入所利用者さまには病状が落ち着けば、再び当施設に入所していただくようにしています。

当施設の職員の連携プレーにより、医療機関への搬送、受診、施設への復帰が円滑にできております。受け入れてくださっている病院、関係者各位には感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、地域の住民のみなさま方のために頑張りたいと考えております。今後も、みなさま方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

デイケア

デイケアでは、様々なレクリエーション活動など新しい取り組みを始めました。

午後の入浴時間を待っている合間に余暇時間を作り、クイズ・一筆書き・なぞなぞ（なぞかけ）やタングラムなど、ホワイトボードを用いて脳トレゲームを利用者さまと一緒にしています。空間ゲームが得意な方は、職員より早く解いて「やったー!!!」とガッツポーズをとったり、昔の出来事クイズの答えを聞いては「子どもと一緒に（テレビ）観てた」「好きやったわ、この唄、美空ひばり・山口百恵の曲」と会話が弾み、私たちも一緒に楽しんでいます。ときには「へえ〜」と知らないことを話しをされるので、私たちの方が脳トレをしている気分になります。

これからいろいろな問題を探して、あつと驚かせる余暇時間を作っていきたいと思っています。



デイルーム南側に農園を作り、職員の間で「グリーンランド」と呼んで、いつでも見られる空間を用意しています。

農園にはトマト・ピーマン・三度豆やサツマイモの苗やひまわりやコスモスの種をまいて育てています。トマトなどはスクスクと育ち、この間初収穫をしました。

これから花が咲く季節になります。今からが楽しみです。

7月28日から毎年恒例の『夏祭り』を行います。

楽しみに待っていてくださいね。



施設内研修

施設内クラスターを経験して

今回の施設内でのクラスターを経験し、施設内研修での振り返りを行い、そこで得た意見を紹介したいと思います。

施設内クラスターは、突然発生します。利用者さまの安全や職員の働く環境の設定の観点から、陽性棟・陰性棟とわけてケアすることを行いました。

当初の陽性者が多数出たことにより、もともと想定していた隔離対応では、対応が困難と判断し、急遽2階フロアを2つに区切りました。

いつもと違う環境、雰囲気での生活に利用者さまは、不安に思う気持ちが大きかったと思います。

いつもと違う雰囲気にはなるのですが、デイルームが小さくなる、人数が少ないなどもあり、逆に落ち着いて過ごされる利用者さまもおられました。



クラスター発生直後は、どのようにケアを行っていか、試行錯誤しながら行っていて、入浴やおやつ提供等が困難でした。後半になると、利用者さまの体調観察期間が終わり、おやつ提供ができたり、リハビリ職員によるレクレーションやデイケア職員が行う体操を提供できるようになりました。



今回、初めてのクラスターの経験をしましたが、各部署がそれぞれ出来る事を判断し、当日から迅速に対応し、お互いを思いやつの行動ができたのではないかと感じています。これからも私たち一人一人が、「持ち込まない・持ち出さない・拡げない」ということを意識し、日々の業務に取り組んでいきます。

栄養課

厨房では日々の感染対策として、
・器具、厨房内備品等の消毒
・作業時手指消毒
・個人の体調チェック
・使い捨て食器の一日分の備蓄
・非常食の一日分の備蓄
を行っています。

クラスター発生時には、使い捨て食器での対応に切り替え、食札に印をつけて区別をしやすくします。お茶、水を使い捨てにするためペットボトル入りの物を購入します。厨房職員が他部署との接触機会を減らすために、厨房外での作業を制限し、電話の活用で物品のやり取りを行うようにします。

リハビリ室

リハビリ室では、以前より、職員の体調管理や、換気、消毒作業を行っていました。

クラスター発生後は、利用者さま、職員の手指消毒を行い、マスク装着の協力をしていただいています。加えて、使用後の物品はその都度消毒をしています。

また、リハビリ室使用を、午前中はデイケア・午後は入所とわけ、職員も入所棟専従とデイケア専従とに分かれることで、安全安心なリハビリを心掛けて実施しています。

職員のつぶやき

デイケア 支援相談員

榮田 朋恵

私は令和4年2月より

デイケアの支援相談員として入職しました「サカエダ」と申します。

介護施設で働くことは、初めてで慣れない事が多いと思いますが、前職の社会福祉協議会や病院での経験を活かし優楽の皆様のために頑張りたいと思っております。

利用者さまが毎日楽しく元気に過ごしていただけるように、些細な事でも相談に乗り、寄り添い、共に問題を解決していきたいと思っております。

私の趣味は神社仏閣巡りで、特に高野山が大好きです。

奥之院には弘法大師様の御廟があり神秘的な雰囲気漂い、とても心が落ち着く霊域です。是非とも一度訪れてみてください！

一期一会の心でおもてなしを実践し、このご縁を大切にし、デイケアのチーム力で優楽を支えていきたいと思えます。よろしく願います。

疾病、傷害などにより介護が必要になったときでも、住み慣れた家庭・地域で自立した生活を営むことができるよう支援させていただく施設です。医学的管理の下、ケアプランにもとづいてリハビリテーション、看護、介護などを行い、家庭介護の支援や家庭復帰を目指します。

◆利用できる対象者

介護保険の要介護認定において要支援以上の要介護状態と認定された方で、病状が安定していて介護が必要な方と、

40歳以上64歳までの特定疾患

(例えば脳血管疾患、糖尿病性神経障害などの疾患が定められています)によって介護が必要な方やリハビリが可能な方。

◆施設サービスの内容

●入所

日常生活動作をしやすくするために、その方の状況に応じたケアプランに沿って、専門スタッフによるレクリエーション、食事、入浴、排泄など日常生活サービスとリハビリテーションなどの医療ケアサービスをご利用いただき、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

介護老人保健施設とは

●短期入所

ご家族の介護疲れや病気・用事などにより、ご家庭での介護が一時的にできなくなったとき入所と同じサービスをご利用いただけます。また、体力や生活機能向上のためのリハビリテーションやレクリエーション活動への参加の促進により、ご家族の介護負担の軽減が図れるよう支援します。

●通所リハビリテーション(長時間)

理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が評価を行い、心身機能維持向上目的のリハビリテーションプログラムを作成し、必要に応じ個別リハビリテーションも行っています。食事・排泄・入浴・レクリエーションも提供します。

●パワーリハビリテーション(短時間)

負担の軽いマシン運動で、心身の活性化を図ります。また、専門職の生活指導と合わせトータル的な介護予防を目指します。

●ご相談、ご利用申し込みは当施設担当者までご連絡ください。

●編集後記● 7月に入り梅雨明け宣言もありましたが、曇天模様が続いています。コロナ感染も落ち着いたかと思えば再度感染者数が増えています。蒸し暑い日が続きますので感染対策も大切ですが、密にならないところではマスクを外したり、水分補給もこまめに行い、熱中症対策も十分にしていきたいと思いますね。

生駒市介護老人保健施設 やすらぎの杜 優楽

TEL/0743-76-3300

<http://www.ikoma-yuraku.com/>

ご利用相談受付担当：藤尾 山崎 中溝(入所・ショート) 田中 榮田(通所)

